



おぐら  
尾倉

<校訓>  
自主  
創造  
協力



令和3年6月11日(金)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
  - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
  - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

# 期末考査まであと2週間！

期末考査が6月23日(水)から始まります。1年生にとっては初めての定期考査です。小学校と違い、「試験範囲」が配付され、「学習計画表」があります。また、小学校では、特にテストのために長い時間をかけて計画的に勉強することは少ないと思います。中学校では、試験範囲が広いので、日頃から学習を積み重ねていくことはもちろん、計画的に取り組んでいくことが必要です。2・3年生もそうですが、自分の学習方法を早めに確立しましょう。

期末考査に向けて、先生なりにいくつか注意事項を挙げておきます。参考にしてください。



## ① 勉強しない日をつくらない

期末考査が行われる6月末は、部活動の大会を控えて土日の練習も多い時期です。3年生の夏の大会は負ければ引退になる大きな試合です。精一杯やって悔いのない部活動にしてほしいのですが、だからといって勉強しなくてもよいわけではありません。「今日は疲れたからいいか・・・」と例外をつくらないことです。試合で疲れた日も30分でも40分でも勉強を頑張りましょう。できるときにワークやプリント、予想問題を進めましょう。

## ② 暗記ものを後回しにしない

例えば漢字は、頭で考えるより練習して覚えることが多いと思います。テスト前は単元の漢字や単語などが課題になると思います。期末考査では、この漢字などの暗記がとても多くなる場合があります。考査ギリギリになってやっていると、他の教科のテスト直前なのに漢字や単語をやらざるを得なくなります・・・。明日は数学と理科のテストなのに漢字、単語・・・。これはとても効率が悪いですので、「暗記もの」は早めに手をつけていきましょう。部活動で疲れて「応用問題」が難しいときに暗記ものをやるのをオススメします。

## ③ 苦手を後回しにしない。

だれでも苦手な野菜があるように、苦手な教科があるかもしれません。先生も高校の時に(たしか生物だったと思いますが)30点を取った記憶があります(笑)。苦手な科目やわからないことが多い教科は、できるだけやりたくないものです。その苦手科目は「サンドイッチ勉強」がオススメです。英語が苦手ならば、好きな数学50分⇒英語30分⇒嫌いでない理科50分。このように苦手を挟んでみましょう。特に、実技教科を後回しにする人が多いと聞きます。「一夜漬け」に

ならないように注意です。

## ④ 小テストの範囲は×問題を中心に。

期末考査は今までやってきた小テストの範囲も含まれる可能性が高いです。そんなときは、間違え問題の復習をしっかりとやりましょう。テスト範囲が広いときはまんべんなく出題され、範囲が狭いときは少し深い部分まで出題される。これが一般的な傾向です。範囲が広がる期末考査、がんばってくださいね。



では、あまりやってはいけない(お勧めしない)勉強法は何でしょうか。個人差はありますが、先生の経験からいくつか紹介します。

### ×① 一夜漬けばかりしてしまう

テスト直前の一夜漬けは、焦りと疲れと睡眠不足を呼ぶだけで「百害あって一利なし」です。一流アスリートも、本番直前は軽いストレッチしか行いません。テスト期間中はいつも以上に睡眠と食事をしっかりととり、体力を温存して万全の状態ですべての試験に取りかかるコンディションを整えましょう。

### ×② ノートを必要以上にきれいにまとめることに夢中になってしまう

きれいな字・多彩な色分け・完璧な板書...このような、一見「完璧なノート」をまとめている人の中には、効果を上げていないことがあります。実は、先生の娘がこのタイプでした。これは、ノートを「作品」としてきれいに仕上げることに夢中で、内容が頭に入っていないために起こる事態です。(通常の授業ではなく)試験勉強で「本人にしか分からないノート」を作っている、「書き込みだらけの汚い教科書」を使っている、それが「考える力」に結びついていけばいいのです。試験勉強では、必要以上にきれいな字を丁寧に書く必要はないのです。余った紙やプリントの裏を使って勉強するときはなおさらです。ある程度自分が分かればいいのではないのでしょうか。

### ×③ 練習問題で間違えた問題の解答を見て満足している

過去のテストや練習問題で間違えた部分を、正答例だけ見て分かったつもりになっていることはないでしょうか。間違えた部分は必ず解き直し、自分の頭で「何を間違えたのか」を考えましょう。いくつかの問題を解き直すうちに自分の間違いパターンに気付くことができます。これが正しい「復習」です。テスト対策は、苦手部分の自覚から始まります。答えだけ写しても本当の力はつきません。答えまでの「過程」を大切に、分からないことは遠慮せず先生に聞きましょう。

### 安倍奈々子先生、2週間ありがとうございました。

5月31日から教育実習生として2週間みなさん(特に2年生)と勉強した安倍先生の教育実習が終わりました。先生は13日に沖縄(琉球大学)に戻ります。2年生との2週間はきっと先生にとって素晴らしいものになったはず。安倍先生、これからも頑張ってください。

(安倍先生から)

初めは不安でいっぱいでしたが、2年生の生徒や先生方から支えられて、人生で一番充実した2週間になりました。たくさん話しかけてくれて感謝がありません。皆さんに授業ができてうれしかったです。これからも何にでも前向きに取り組んでください。また会いましょう!

